



報道関係者各位

【プロ野球ファン 1,200 人アンケート調査結果】

## 前半戦リーグMVP

セ・リーグ 才木浩人(阪神) パ・リーグ 近藤健介(ソフトバンク)

## プロ野球の制度改革等に関する意識調査

リクエスト導入(2018)は成功 91.0% 現役ドラフト導入(2022)は成功 86.0%  
ロボット審判の試験的導入賛成 60.3% プロ野球スポーツくじ導入賛成 39.7%

産業能率大学スポーツマネジメント研究所(所長:中川直樹 情報マネジメント学部教授)は、2024年6月末に、プロ野球前半戦 MVP 等の選手に関する調査と、プロ野球の制度改革等に関する意識調査を実施しました。

アンケート回答者は、12球団のファン各100名の計1,200名。対象選手(敬称略)は2024年6月20日現在のNPB支配下登録選手807名です。なお、球団別集計表の並びは、昨年度のリーグ最終順位としています。

## 前半戦リーグMVP投票トップ3 (各リーグ N=600)

セントラル・リーグ			パシフィック・リーグ		
順位	選手名(所属球団)	票数	順位	選手名(所属球団)	票数
1位	才木浩人(阪神)	88	1位	近藤健介(ソフトバンク)	102
2位	大瀬良大地(広島)	80	2位	水谷瞬(日本ハム)	34
3位	サンタナ(ヤクルト)	25		万波中正(日本ハム)	

## 後半戦のキーマン各球団1位 (各球団 N=100)

セントラル・リーグ			パシフィック・リーグ		
応援チーム	選手名	票数	応援チーム	選手名	票数
阪神	佐藤輝明	26	オリックス	宮城大弥	25
広島	大瀬良大地	15	ロッテ	佐々木朗希	25
DeNA	筒香嘉智	14	ソフトバンク	周東佑京/近藤健介	9
巨人	岡本和真	15	楽天	田中将大	15
ヤクルト	村上宗隆	37	西武	高橋光成	18
中日	中田翔/細川成也	10	日本ハム	水谷瞬	16

## プロ野球の制度改革等に関する意識調査 (N=1,200)

質問	はい	いいえ
「リクエスト」(際どい判定に監督がリプレイ検証を求める制度)の導入は成功だったと思う	91.0%	9.0%
「現役ドラフト」(出場機会に恵まれない選手の相互移籍)の導入は成功だったと思う	86.0%	14.0%
ファームや特別な試合などで「ロボット審判」(AI判定)の試験的導入を開始すべきだ	60.3%	39.7%
プロ野球の「エクспанション」(1軍チームを現状の12球団から増やすこと)に賛成だ	51.2%	48.8%
Jリーグのように、プロ野球にも「スポーツくじ」を導入した方がよい	39.7%	60.3%



## 1. 選手に関する調査結果

## 1-1. 前半戦リーグMVP（各リーグ N=600）

応援チームが所属するリーグの「前半戦 MVP」に相応しい選手を1人だけ選んでもらい、その理由も尋ねました。

下表では10票以上獲得した選手について、その理由の抜粋を掲載しています。

リーグ	順位	選手名（所属球団）	票数	理由（抜粋）
セ・リーグ	1位	才木浩人（阪神）	88	・完投、完封が多い。少ない援護点でも投げ切ってくれる （阪神ファン滋賀県 20代女性） ・セ・リーグトップの勝利数。いちばん安定している （巨人ファン長崎県 50代男性）
	2位	大瀬良大地（広島）	80	・ノーヒットノーラン達成に加えて、規定投球回を投げ防御率リーグトップを維持しているから（広島ファン茨城県 20代男性）
	3位	サントナ（ヤクルト）	25	・打率、打点、本塁打など総合的にみて一番活躍していると思うため（巨人ファン長野県 40代男性）
	4位	東克樹（DeNA）	22	・QS率がいいから（DeNAファン神奈川県 40代女性） ・ほぼ負けない（中日ファン愛知県 40代男性）
	5位	マルティネス（中日）	21	・セーブ数 No1 だから。9回の時点でリードしていたら勝利がほぼ確定する（中日ファン愛知県 30代男性）
	6位	戸郷翔征（巨人）	18	・ノーヒットノーラン達成、エースに相応しい活躍だから（巨人ファン三重県 40代女性）
	7位	岡本和真（巨人）	11	・勝利に結びつく打撃が多い（巨人ファン兵庫県 50代男性）
		細川成也（中日）	11	・チームへの貢献度が高い（中日ファン愛知県 60代男性）
	9位	近本光司（阪神）	10	・攻守ともに頑張っている（阪神ファン兵庫県 50代女性）
	度会隆輝（DeNA）	10	・ルーキーとは思えない活躍（DeNAファン神奈川県 20代女性）	
パ・リーグ	1位	近藤健介（ソフトバンク）	102	・打率がいいだけでなく、こぞぞという時に打ってくれるから （ソフトバンクファン福岡県 50代男性） ・高いレベルでの抜群の安定感 （オリックスファン神奈川県 30代男性）
	2位	水谷瞬（日本ハム）	34	・交流戦 MVP（オリックスファン宮崎県 50代男性） ・移籍して本来の実力をいかに発揮、打ちまくっている （西武ファン佐賀県 40代男性）
		万波中正（日本ハム）	34	・走攻守どれもが逸品（日本ハムファン北海道 60代男性） ・守備時の強肩（ソフトバンクファン神奈川県 20代男性）
	4位	田宮裕涼（日本ハム）	24	・打てる、走れる、守れる今までにないキャッチャー （日本ハムファン北海道 60代男性）
	5位	宮城大弥（オリックス）	20	・山本由伸の穴を埋めて先発投手として毎試合流れを作っている （ロッテファン千葉県 20代女性）
	6位	山川穂高（ソフトバンク）	14	・ソフトバンク打線の厚みが格段に増し、首位独走に貢献している （オリックスファン神奈川県 50代男性）
	7位	小郷裕哉（楽天）	11	・交流戦優勝の立役者（楽天ファン宮城県 20代男性）
	8位	佐々木朗希（ロッテ）	10	・見ていて楽しい（楽天ファン福島県 50代男性）
	松本剛（日本ハム）	10	・守備が上手い（ロッテファン東京都 50代男性）	



## 1-2. 後半戦のキーマン各球団トップ3（各球団 N=100）

応援チームにおける「後半戦のキーマン」と考える選手を1人だけ選んでもらい、応援メッセージを書いてもらいました。

リーグ	球団	順位	選手名	票数	応援メッセージ（抜粋）
セ・リーグ	阪神	1位	佐藤輝明	26	・広い甲子園でも軽く本塁打を当てるパワー。人気、雰囲気、この人が打ち始めたら、周りも打ち始めるという期待感（愛知県 40代男性）
		2位	大山悠輔	24	・大山が四番にいてこそこのタイガース打線（熊本県 60代男性） ・阪神の4番は大山しか考えられない（京都府 50代女性）
		3位	才木浩人	8	・沢村賞期待しています！阪神タイガースの救世主になってください（滋賀県 20代女性）
	広島	1位	大瀬良大地	15	・今の好調を継続していければ優勝だ（奈良県 60代女性） ・怪我に気を付けて頑張ってください（東京都 40代男性）
		2位	末包昇大	14	・得点力アップのキーマンとして期待しています！（広島県 30代女性）
		3位	森下暢仁	6	・いいピッチングしてるので焦らず頑張ってください（広島県 60代男性）
	DeNA	1位	筒香嘉智	14	・メジャー挑戦の諦めない真っ直ぐな気持ちに心打たれました。今年こそ横浜の空に三浦監督を胴上げしてください（神奈川県 40代女性）
			東克樹	10	・エースとして優勝に向けチームを引っ張って行って欲しい（千葉県 50代男性）
		2位	山崎康晃	10	・復活してほしい（神奈川県 60代男性）
			牧秀悟	10	・打線の中心として、頑張ってください！（兵庫県 20代男性）
	巨人	1位	岡本和真	15	・7年連続30本塁打、そして打点王に輝くことを楽しみにしています！（東京都 20代女性） ・勝負を決める一打を期待しています（東京都 30代男性）
		2位	坂本勇人	14	・もうひと踏ん張り。チャンスで打って優勝を（長崎県 50代男性）
		3位	大勢	10	・12球団一の守護神。大勢の復活なくしてジャイアンツの優勝はない！（群馬県 50代男性）
	ヤクルト	1位	村上宗隆	37	・ヤクルトの4番として、とにかく堂々と頑張ってください。明るくチームを盛り上げる姿が見たい（岩手県 40代女性） ・4番が打てばチームも乗ってくる（千葉県 40代女性）
		2位	奥川恭伸	16	・怪我で苦しい思いをたくさんしたと思いますが、これからヤクルトのエースとしてまた新しい活躍を（福岡県 20代女性）
		3位	山田哲人	9	・彼が活躍しないとチームが浮上しない（東京都 30代男性）
	中日	1位	中田翔	10	・怪我に気をつけてチャンスで一本（大阪府 40代男性） ・中日暗黒時代を救ってください！（岐阜県 30代女性）
			細川成也	10	・三振を怖れず自分の打撃を（東京都 60代男性） ・是非ホームラン王を取ってほしい（埼玉県 60代男性）
		3位	高橋宏斗	9	・ポテンシャル十分。より安定感のあるパフォーマンスを！（静岡県 50代男性）



リーグ	球団	順位	選手名	票数	応援メッセージ (抜粋)
パ・リーグ	オリックス	1位	宮城大弥	25	・ローテを守り、チームを4連覇へ(埼玉県 30代男性) ・オリックス優勝のためにはあなたの力が必要です(大阪府 60代女性)
		2位	山下舜平大	8	・三振をたくさん奪うピッチングを(大阪府 50代男性) ・復調してどンドン勝ち星を(東京都 50代男性)
		3位	エスピノーザ	5	・日本に来てくれてありがとう!(兵庫県 40代女性)
	ロッテ	1位	佐々木朗希	25	・圧倒的なピッチングを(神奈川県 40代男性) ・再度完全試合(千葉県 60代男性) ・日本最速をだしてくれ(東京都 30代男性)
		2位	唐川侑己	9	・先発でバッチバチに投げているところが見たい!!(千葉県 40代女性)
		3位	藤原恭大	6	・早く一軍に上がって来て活躍して欲しい!(神奈川県 30代女性)
	ソフトバンク	1位	周東佑京	9	・周東選手が出塁すると勝利に繋がる、沢山出塁してください(福岡県 60代男性)
			近藤健介	9	・近藤選手の勝負強さに期待しています(京都府 20代女性) ・泥臭く頑張れ(福岡県 50代男性)
		3位	山川穂高	8	・ホームラン増産(神奈川県 60代女性)
	楽天	1位	田中将大	15	・日本一の感動をもう一度(和歌山県 30代男性) ・負けず嫌いの野球少年に戻って復活して!(宮城県 50代男性)
		2位	浅村栄斗	12	・これからドンドンスタンドへと叩き込んで(大阪府 30代男性) ・打てば必ずチームが勝つ。ソフトバンクー強を止めて(宮城県 40代男性)
		3位	則本昂大	11	・気迫のこもった投球がみたい(福島県 50代男性) ・いつも熱い投球で見ているワクワクします。頑張ってください(愛知県 50代男性)
	西武	1位	高橋光成	18	・西武上昇のカギは君が握っている(静岡県 40代男性) ・とにかく一勝を(福岡県 60代男性)
			外崎修汰	6	・アップルパンチでチームをネアカにしてください(埼玉県 60代男性)
		3位	源田壮亮	5	・チーム状況が本当に厳しく精神的にとっても大変だと思いますが、源田選手のリーダーシップなら必ずチームを上昇気流に乗せることができるはず。頑張れ、源ちゃん!(滋賀県 30代男性)
			岸潤一郎	5	・迷わず振り切って下さい!(埼玉県 50代女性)
	日本ハム	1位	水谷瞬	16	・これからも交流戦のように打ちまくって(北海道 20代男性) ・"熱男スピリッツ"、ファイターズで思う存分解き放ってください! かつ飛ばせジェッシー!!(東京都 50代女性)
		2位	清宮幸太郎	15	・往來のバッティングセンスでホームラン王を狙って欲しい(北海道 60代男性)
3位		万波中正	10	・ヒットを打った時の笑顔が最高です。怪我に気をつけて頑張ってください(北海道 50代女性)	



### 1-3. 投打の No.1 注目選手（各球団 N=100）

応援チームの所属選手を「投手」と「野手」（捕手・内野手・外野手）に分けて、それぞれ注目選手を 3 人まで挙げてもらいました。下表は各球団で最も票を集めた選手です。

リーグ	球団	投手		野手	
		選手名	票数	選手名	票数
セ・リーグ	阪神	才木浩人	69	森下翔太	50
	広島	大瀬良大地	70	末包昇大	54
	DeNA	東克樹	64	オースティン	40
	巨人	戸郷翔征	49	岡本和真	63
	ヤクルト	奥川恭伸	52	サンタナ	43
	中日	高橋宏斗	53	細川成也	53
パ・リーグ	オリックス	宮城大弥	41	紅林弘太郎	39
	ロッテ	佐々木朗希	47	ソト	30
	ソフトバンク	モイネロ	37	近藤健介	57
	楽天	則本昂大	43	浅村栄斗	36
	西武	今井達也	32	中村剛也／岸潤一郎	27
	日本ハム	伊藤大海	62	万波中正	54

### 1-4. 盗塁・守備の No.1 期待選手（各球団 N=100）

応援チーム所属の野手の中から「盗塁王」になってほしい選手を 2 人まで、投手を含む全選手の中から「ゴールデン・グラブ賞」に選ばれてほしい選手 3 人までそれぞれ挙げてもらいました。下表は各球団で最も票を集めた選手です。

リーグ	球団	盗塁王期待		ゴールデン・グラブ賞期待	
		選手名	票数	選手名	票数
セ・リーグ	阪神	近本光司	75	近本光司	58
	広島	羽月隆太郎	37	菊池涼介	56
	DeNA	森敬斗	26	東克樹	24
	巨人	吉川尚輝	32	吉川尚輝	41
	ヤクルト	並木秀尊	31	山田哲人／長岡秀樹	26
	中日	岡林勇希	38	田中幹也	47
パ・リーグ	オリックス	福田周平	21	宗佑磨	43
	ロッテ	和田康士朗	27	佐々木朗希／荻野貴司	14
	ソフトバンク	周東佑京	65	今宮健太	40
	楽天	小深田大翔	22	辰己涼介	24
	西武	源田壮亮	28	源田壮亮	52
	日本ハム	五十幡亮汰	38	万波中正	54



### 1-5. 新人王期待選手（各球団 N=100）

応援チーム所属選手の有資格者の中から「新人王」に選ばれてほしい選手を1人挙げてもらいました。  
下表は各球団で最も票を集めた選手です。

セ・リーグ新人王期待			パ・リーグ新人王期待		
応援チーム	選手名	票数	応援チーム	選手名	票数
阪神	豊田寛	15	オリックス	古田島成龍	18
広島	常廣羽也斗	18	ロッテ	上田希由翔	17
DeNA	度会隆輝	60	ソフトバンク	廣瀬隆太	12
巨人	西舘勇陽	40	楽天	古謝樹	16
ヤクルト	松本健吾	14	西武	武内夏暉	35
中日	田中幹也	47	日本ハム	金村尚真	25

### 1-6. カムバック・ブレイク期待選手（各球団 N=100）

応援チーム所属の新人王有資格選手“以外”の選手の中から「カムバック」（不調などからの復活）を期待する選手とブレイク（才能の開花）を期待する選手を1人ずつ挙げてもらいました。下表は各球団で最も票を集めた選手です。

リーグ	球団	カムバック期待		ブレイク期待	
		選手名	票数	選手名	票数
セ・リーグ	阪神	湯浅京己	16	前川右京	34
	広島	野村祐輔	10	末包昇大	12
	DeNA	筒香嘉智	14	筒香嘉智／坂本裕哉	7
	巨人	菅野智之	19	秋広優人	13
	ヤクルト	奥川恭伸	35	奥川恭伸	11
	中日	根尾昂	17	根尾昂	26
パ・リーグ	オリックス	宮城大弥／宇田川優希／ T-岡田／山岡泰輔	7	山下舜平大／曾谷龍平	9
	ロッテ	佐々木朗希	8	佐々木朗希／松川虎生	11
	ソフトバンク	柳田悠岐	14	柳町達	9
	楽天	田中将大	42	早川隆久	6
	西武	高橋光成	8	隅田知一郎	7
	日本ハム	清宮幸太郎	16	水谷瞬	26



## 2. プロ野球の制度改革等に関する意識調査結果

### 2-1. 単純集計結果

意識調査は、10の質問に対して、「はい」か「いいえ」で回答してもらいました。下表は回答者全体（N=1,200）の肯定率（「はい」の比率）が高い順にまとめたものです。

肯定率がかなり高い項目（75%以上）を■（赤）、比較的高い項目（55%以上 75%未満）を■（橙）、50%程度の項目（45%以上 55%未満）を■（黄緑）、低い項目（45%未満）を■（青）で網掛けしています。「原文」のままでは集計結果として見づらいため、次節以降の表では短縮化した「ラベル」用います。

No.	質問ラベル	肯定率	質問の原文
1	リクエスト導入を成功と評価	91.0%	「リクエスト」（際どい判定に監督がリプレイ検証を求める制度）の導入は成功だったと思う
2	現役ドラフトを成功と評価	86.0%	「現役ドラフト」（出場機会に恵まれない選手の相互移籍）の導入は成功だったと思う
3	セ・リーグ DH 制に賛成	62.0%	セ・リーグにも「DH 制」（投手に代わる選手が打席に立つ制度）を導入した方がよい
4	ロボット審判導入に前向き	60.3%	日本のプロ野球も、ファームや特別な試合などで「ロボット審判」（AI 判定）の試験的導入を開始すべきだ
5	CS アドバンテージ再考を	58.6%	クライマックスシリーズの「アドバンテージ」（リーグ優勝球団に 1 勝）は、一律ではなく条件によって変更すべきだ
6	エクспанションに賛成	51.2%	プロ野球の「エクспанション」（1 軍チームを現状の 12 球団から増やすこと）に賛成だ
7	ファームチーム拡大を認知	50.1%	イースタン・リーグに「オイシックス」が、ウエスタン・リーグに「くふうハヤテ」が参入したことを知っている
8	ピッチクロック導入に賛成	44.8%	日本のプロ野球にも「ピッチクロック」（投球時の時間制限）を導入すべきだ
9	スポーツくじ導入に賛成	39.7%	Jリーグのように、プロ野球にも「スポーツくじ」を導入した方がよい
10	有料チャンネルに登録	25.8%	プロ野球を観戦するために「有料チャンネル」に登録している

2018 年から始まり、すでに定着した感のある「リクエスト」制度については 9 割を超える回答者が成功と評価しました。2022 年からスタートした「現役ドラフト」制度についても 9 割近い回答者が成功と評価していました。これら 2 制度については、プロ野球ファンにおいて総じて否定的意見は少ないと考えられます。

比較的高いのは、「セ・リーグ DH 制に賛成」「ロボット審判導入に前向き」「CS アドバンテージ再考を」になります。これらを含み肯定率がこれ以下の項目については、結論を一般化するのには早計です。次節・次々節において、基本属性（性・年代・応援する球団）とのクロス集計結果を踏まえて考察を加えます。



## 2-2. 基本属性クロス集計結果①性・年代

前節と同じ質問順で、「性年代」ごとの比率を表にしたものが下表になります。

相対的に、肯定率が高いほど暖色、低いほど寒色で網掛けしました。次節も同様です。

No.	質問ラベル	全体 N=1,200	男性					女性				
			20代 N=119	30代 N=167	40代 N=207	50代 N=199	60代 N=144	20代 N=73	30代 N=52	40代 N=79	50代 N=86	60代 N=74
1	リクエスト導入を成功と評価	91.0%	85.7%	89.8%	91.3%	95.5%	96.5%	79.5%	88.5%	86.1%	93.0%	94.6%
2	現役ドラフトを成功と評価	86.0%	82.4%	85.0%	88.4%	89.4%	91.7%	79.5%	88.5%	75.9%	80.2%	89.2%
3	セ・リーグDH制に賛成	62.0%	69.7%	57.5%	53.6%	61.8%	68.8%	69.9%	65.4%	63.3%	57.0%	64.9%
4	ロボット審判導入に前向き	60.3%	58.8%	67.1%	51.7%	62.3%	60.4%	63.0%	69.2%	63.3%	60.5%	54.1%
5	CSアドバンテージ再考を	58.6%	58.0%	59.3%	66.2%	64.8%	59.7%	54.8%	48.1%	49.4%	44.2%	55.4%
6	エクспанションに賛成	51.2%	56.3%	61.1%	56.5%	56.8%	56.9%	42.5%	46.2%	36.7%	30.2%	31.1%
7	ファームチーム拡大を認知	50.1%	68.1%	62.9%	58.5%	55.3%	50.7%	45.2%	28.8%	27.8%	25.6%	25.7%
8	ピッチクロック導入に賛成	44.8%	47.1%	47.3%	42.5%	49.2%	48.6%	47.9%	50.0%	31.6%	38.4%	37.8%
9	スポーツくじ導入に賛成	39.7%	44.5%	50.9%	43.5%	44.7%	32.6%	43.8%	36.5%	34.2%	16.3%	27.0%
10	有料チャンネルに登録	25.8%	37.8%	26.9%	28.0%	25.1%	18.1%	28.8%	32.7%	22.8%	22.1%	14.9%

前節で述べた通り、「リクエスト導入を成功と評価」と「現役ドラフトを成功と評価」については、すべての属性区分で75%を超えていました。

「セ・リーグ DH 制に賛成」「ロボット審判導入に前向き」に関しても、すべての属性区分で 50%は超えていましたが、40代男性で肯定率がやや低い傾向が見られました。「CS アドバンテージ再考を」については、性差が顕著でした。別途集計したところ、男性の肯定率は 62.2%であるのに対し、女性は 50.3%に留まりました。**男性ファンは 2 位に大きく差をつけて優勝したチームはもっと優遇されてしかるべきと考えるの**に対し、女性ファンではその傾向は強くないようです。

「エクспанションに賛成」「ファームチーム拡大を認知」も性差が大きく、前者は男性 57.5%・女性 36.5%、後者は男性 58.6%・女性 30.5%でした。これはファームにおける「オイシックス」や「くふうハヤテ」の参入を 6 割近い男性ファンは認知しているのに対し、女性の認知率は 3 割程度に留まっていることを意味します。1 軍チームの球団数増加についても、6 割近い男性ファンは肯定的ですが、肯定的な女性ファンは 3 割程度に留まり、**現状の 12 球団のままであることを望んでいる女性ファンの方が多い**という結果となりました。

「ピッチクロック導入に賛成」「スポーツくじ導入に賛成」も基本的には男性の肯定率が高く、女性の肯定率が低いという結果を示しています。ただし「ピッチクロック導入に賛成」に関して、女性 20 代は男性と遜色ない高い値であり、女性 30 代にいたっては 10 の区分の中でもっと高い値を示すことから、**タイプ（タイム・パフォーマンス）を重視する若年女性の傾向**が現れていると読み取ることもできます。「スポーツくじ導入に賛成」に関しては、男性 30 代では 5 割を超える一方、女性 50 代では 2 割を下回る対照性が目を引きます。4 割を下回る**男性 60 代と女性 30 代以上においては、プロ野球のスポーツくじ導入には否定的意見が大勢を占めている**ようです。

最後の「有料チャンネルに登録」は年代の影響が大きく、別途集計した世代ごとの肯定率によると、20 代 34.4%→30 代 28.3%→40 代 26.6%→50 代 24.2%→60 代 17.0%と低下します。若年層でもまだ 4 割未満と多数派ではありませんが、**世代が上がるほど有料チャンネル登録率は低下し、60 代では男女ともに 2 割を下回る結果**となりました。

最終節では本調査において性・年代以上の基本属性ともいえる「応援チーム」による傾向の違いについて考察します。



### 2-3. 基本属性クロス集計結果②応援チーム

下表は、前節の「性年代」列を「応援チーム」列に置き換えた表です。「性年代」以上に属性間の差が大きくなる質問項目もあれば、応援チーム間でほとんど違いが見られなくなる項目も散見されます。

No.	質問ラベル	全体 N=1,200	セ・リーグ球団						パ・リーグ球団					
			神	広	De	巨	ヤ	中	オ	ロ	ソ	楽	西	日
1	リクエスト導入を成功と評価	91.0%	94.0%	90.0%	88.0%	94.0%	87.0%	92.0%	89.0%	93.0%	91.0%	88.0%	92.0%	94.0%
2	現役ドラフトを成功と評価	86.0%	88.0%	84.0%	89.0%	88.0%	83.0%	90.0%	87.0%	85.0%	81.0%	81.0%	84.0%	92.0%
3	セ・リーグDH制に賛成	62.0%	45.0%	49.0%	66.0%	61.0%	56.0%	61.0%	64.0%	64.0%	66.0%	75.0%	59.0%	78.0%
4	ロボット審判導入に前向き	60.3%	49.0%	61.0%	66.0%	54.0%	61.0%	57.0%	57.0%	64.0%	57.0%	72.0%	61.0%	65.0%
5	CSアドバンテージ再考を	58.6%	63.0%	62.0%	50.0%	63.0%	55.0%	55.0%	56.0%	57.0%	68.0%	53.0%	63.0%	58.0%
6	エクспанションに賛成	51.2%	50.0%	47.0%	58.0%	54.0%	49.0%	46.0%	52.0%	53.0%	53.0%	48.0%	46.0%	58.0%
7	ファームチーム拡大を認知	50.1%	58.0%	43.0%	55.0%	61.0%	54.0%	51.0%	51.0%	54.0%	45.0%	33.0%	41.0%	55.0%
8	ピッチクロック導入に賛成	44.8%	32.0%	45.0%	43.0%	48.0%	37.0%	42.0%	47.0%	49.0%	57.0%	58.0%	43.0%	37.0%
9	スポーツくじ導入に賛成	39.7%	34.0%	31.0%	37.0%	40.0%	37.0%	36.0%	50.0%	37.0%	43.0%	48.0%	33.0%	50.0%
10	有料チャンネルに登録	25.8%	28.0%	21.0%	34.0%	29.0%	31.0%	17.0%	29.0%	26.0%	29.0%	22.0%	16.0%	28.0%

全体上位の「リクエスト導入を成功と評価」および「現役ドラフトを成功と評価」に関しては、性年代よりも分散が小さくなります。前節では属性内平均が70%台の区分もありましたが、今回は80%を下回るセルはありません。したがって、どのチームのファンであるかに関わらず、「リクエスト制度」と「現役ドラフト制度」は支持されていることがわかります。表の下の2項目「スポーツくじ導入に賛成」「有料チャンネルに登録」に関しても、性年代10セルの範囲がそれぞれ16.3%~50.9%と14.9%~37.8%だったのに対し、応援チームの12セルの範囲は31.0%~50.0%および16.0%~34.0%と縮小しており、「スポーツくじ導入の是非」や「有料チャンネル登録の有無」に関しては、応援チームによる違いよりも世代の違いによる影響の方が大きいと考えられます。

上記4項目以外については、応援チームによる傾向の違いが鮮明です。「セ・リーグDH制に賛成」に関しては、セ・リーグ平均が56.3%なのに対し、パ・リーグ平均は67.7%と10ポイント以上の差となりました。すでにDH制が敷かれているパ・リーグのチームを応援するファンはセ・リーグも同様に導入すればよい立場なのに対し、セ・リーグチームを応援するファンはDH制の導入に基本的に慎重です。ただし、セ・リーグ内でも分散は大きく、DeNA・巨人・中日のファンではDH制導入賛成派が6割を超えますが、阪神と広島の方のファンの中では否定派が過半数の結果となりました。前者の背景には得点力強化の重視、後者の背景には天然芝球場ならではの醍醐味や打席を苦にしない投手の存在などが考えられます。

「ロボット審判導入に前向き」なのは、親会社がテクノロジーに強みを持ち新規参入から日の浅い楽天（肯定率72.0%）とDeNA（同66.0%）のファン、逆に伝統のある阪神（同49.0%）と巨人（同54.0%）のファンでは、そこまで前向きではないことが見受けられます。「CSアドバンテージ再考を」については仮説通り、現在パ・リーグ首位を独走しているソフトバンクのファンが最高値の68.0%、「ファームチーム拡大を認知」に関しても、ファンの居住地が全国に広がる巨人ファンの認知率が高く首肯できる結果となりました。

「エクспанションに賛成」の肯定率が高いのは、DeNA（同58.0%）と日本ハム（同58.0%）のファンであり、両チームとも近年地域密着でファン層を拡大している共通点がありますが、その関連性については検証が必要です。同様に「ピッチクロック導入に賛成」は楽天（同58.0%）とソフトバンク（同57.0%）のファンにおいて高い値が、逆に阪神（同32.0%）のファンでは最も低い値となっていますが、その理由についても今後の検証課題とします。本研究所では引き続きプロ野球に関する調査を進めてまいります。今後のプレスリリースにも是非ご注目ください。



【調査概要】

調査方法：インターネットリサーチ

調査期間：2024年6月24日～26日の3日間

調査対象：予備調査をもとに抽出したプロ野球12球団のファン100名ずつの計1,200人

調査監修：小野田哲弥（産業能率大学スポーツマネジメント研究所研究員／情報マネジメント学部教授）

調査協力：荒井智尋・小池英華・徳竹彩花・長谷川也紗・松浦航太（小野田ゼミ）

【回答者属性】（N=1,200）

回答者属性		全体 N=1,200	セ・リーグ球団						パ・リーグ球団					
			神	広	De	巨	ヤ	中	オ	ロ	ソ	楽	西	日
性年代	男性 20代	119	13	7	11	9	7	18	9	16	8	9	5	7
	男性 30代	167	11	11	14	16	21	8	13	14	16	20	10	13
	男性 40代	207	23	19	13	11	14	25	11	22	11	23	21	14
	男性 50代	199	19	18	18	23	13	16	20	12	15	15	15	15
	男性 60代	144	8	11	11	11	14	8	19	10	10	13	15	14
	女性 20代	73	8	5	9	10	9	1	6	2	8	4	5	6
	女性 30代	52	3	5	6	5	4	7	2	6	4	2	6	2
	女性 40代	79	4	7	5	6	10	7	7	6	8	2	11	6
	女性 50代	86	8	9	9	2	3	5	6	7	10	7	10	10
	女性 60代	74	3	8	4	7	5	5	7	5	10	5	2	13
居住地	北海道	63	6	1		5	3			2	1		1	44
	東北地方	59			4	4	2		5	2		37	2	3
	北関東地方	35	3	7	2	4	5	1	1	1	2	5	1	3
	埼玉県	87	2	1	5	7	6	2	3	4	4	6	45	2
	千葉県	70	1	4	4	2	6	2		45	2	2	1	1
	東京都	164	6	13	18	16	35	10	10	13	5	11	17	10
	神奈川県	104	4	4	42	11	7	3	4	8	7	3	4	7
	甲信越・北陸地方	37	1	3	3	7	5	2	5	4		2	4	1
	東海地方	153	4	3	6	12	9	72	10	5	7	13	6	6
	近畿地方	205	64	10	9	13	11	4	51	5	9	10	9	10
	中国地方	88	3	51	4	8	4			1	5	3	2	7
	四国地方	32	2	2	1	6	2	1	3	3	5	3	3	1
九州地方	103	4	1	2	5	5	3	8	7	53	5	5	5	

※「性年代」「居住地」内で相対的に度数が多いほど濃色で網掛け

【産業能率大学】

■ホームページ：<https://www.sanno.ac.jp/>

◆本件に関するご取材・お問い合わせ◆

産業能率大学広報事務局（共同ビル内）

Email : sanno-u-pr@kyodo-pr.co.jp

TEL:日比（070-4303-7219） 秋山（080-1032-8649）